

# 履歴データ サーバ ( HDS ) Database ( DB ) アップデートは遅いです

## 目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[確認](#)

[解決策](#)

## 概要

この資料にロガー DB から HDS に遅い複製を固定する方法を記述されています。

ステイブ Hartman によって貢献される、Cisco TAC エンジニア。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

構造化照会言語 ( SQL )

Cisco Unified Contact Center Enterprise ( UCCE )

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づくものです。

- UCCE 9.x 以上に

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

## 問題

ロガーからの HDS への履歴データの遅いアップデートは 30 分から数時間に奪取できます。これには SQL 先端を切った様な表リカバリー コマンドが HDS で実行された後遅い更新が含まれていません。これは、遅いプロセス元来あり、24hrs に HDS とロガー間の量データ、コール音量

、処理能力およびネットワーク速度に基づいてロガーとの再同期にとることができます。  
HDS は 1 日、数日、週末また更に月の間にロガーの後ろに一貫してある場合もあり、通常の状態  
で操作します。

## 確認

第 1 示す値はトランザクションログが完全であるので TCD パージ ジョブ失敗します。削除  
機能を行い、DB が育て、システムの種を作成するように HDS DB を防ぐ他の理由で失敗するそ  
れことはまた可能性のあるです。

第 2 示す値は表の最大日付/時間にロガーと HDS の違いがあることである可能性があります。こ  
れを確認するために、ロガーおよび HDS のこれらの SQL クエリを実行し、日付/時を比較できま  
す。これらはチェックされ、一致する必要があるいくつかのより頻繁にアップデートされた表で  
す。

```
select max (DateTime) from Call_Type_Interval
select max (DateTime) from Agent_Skill_Group_Interval
select max (DateTime) from Route_Call_Detail
select max (DateTime) from Termination_Call_Detail
select max (DateTime) from Skill_Group_Interval
```

これが起こす 1 つの原因は DB のトランザクションログが完全な 40% のデフォルトに達する  
とき LogWatch が作動し、フロー HDS に休止するデータのあるということであるといえます。ト  
ランザクションログがこのマークを下回る場合のそれ不安。LogWatch がこの制限に達し、デー  
タフロー休止したかどうか見るために、このメッセージのための RPL ログを見て下さい:

```
dis-rpl Trace: Thread [6316] Function Replication is Paused by LogWatch in CheckForFunctionPause
dis-rpl Trace: Thread [7492] Function Recovery is Paused by LogWatch in CheckForFunctionPause
まれな状況の場合、また複製プロセスが小型ダンプするをクラッシュし、作成することがわかる  
かもしれません。このメッセージはトランザクションログが完全であることを示します:
```

```
dis-rpl Trace: Node Manager thread received shutdown message
dis-rpl Trace: CExceptionHandlerEx::GenerateMiniDump -- A Mini Dump File is available at
logfiles\replication.exe_20140918030018994.mdmp
dis-rpl Trace: Thread [5232] Function Replication is Paused by LogWatch in CheckForFunctionPause
dis-rpl Unhandled Exception: Exception code: C0000005 ACCESS_VIOLATION
Fault address: 0043AD8E 01:00039D8E C:\icm\bin\replication.exe
terminating_call_detail
Registers:
EAX:00000004
EBX:00000178
ECX:00000000
EDX:00F23110
ESI:77E42014
EDI:77E62FBD
CS:EIP:001B:0043AD8E
SS:ESP:0023:0131FE54 EBP:0131FE60
DS:0023 ES:0023 FS:003B GS:0000
Flags:00010212
Call stack:
Address Frame
0043AD8E 0131FE60 EventInput::Flush+1E
004173D4 0131FEDC ICRDb::Shutdown+14
0040387A 0131FEE8 NodeManagerHandler+2A
```

## 解決策

LogWatch がフロー データの休止する問題から回復ために、40% から高頻度にバックオフ%を高めることができます。一般的に 60% より開始点しかし 80% 以下ではないです。

この変更を行うために、レジストリを書き換え、次のキーを修正して下さい: ディストリビューター\RealTimeDistributor\CurrentVersion\ロガー\CurrentVersion\SQLServer\LogWatch\BackOffPercent およびサイクル ディストリビューター サービス。

トランザクションログが完全である場合、HDS DB トランザクションログは accomidate に処理されるデータ量高める必要があります。ここに「魔法」数がありませんが、ログ サイズのための 2gig から開始し、データ量进行处理するにはログが十分に大きくなるまで 2 による増分はシステム処理しています。

調査するべき他のトランザクションログは UCCE ステージング ガイドが 400MB の開始点を推奨し、ほとんどの配備の下で 2GB を超過するべきではない大量顧客の臨時雇用者 DB ログです。